

豊潤の里 だより

産廃最終処分場はいらん!!

～7660人の思い提出～

安芸津の産廃最終処分場計画

反対署名7660人県に提出

東広島市安芸津町木谷で
広島市西区の業者が設置を
計画している産業廃棄物の
最終処分場について、予定
地の地元住民が25日、建設
に反対する7660人分の
署名を、県西部東厚牛環境
事務所（東広島市）に提出
した。

署名は湯崎英彦知事宛で、
で、土壌や周辺の海域に環
境汚染の恐れがあると指摘
し、「美しい自然と健康な
生活を守るため建設に反対
する」と主張。許可権者の
県に対し、許可しないよう
求める趣旨となっている。
住民でつくる処理施設反
対実行委員会の4人が事務
所を訪れ、松浦孝易次長に
署名が入った箱を手渡しし
た。同会の大田一夫代表
(73)は「風評被害などでカ
キやジャガイモなど農漁業
が駄目になったら、どう生
きていいかわからない」と
訴えた。松浦次長は「住民
との合意形成を図るよう、



松浦次長(左)に反対署名を提出する大田代表(右)たち

事業者を引き続き指導して
いく」と述べた。
事業者の計画では、最終
処分場は管理型で造成面積
は8畝。燃え殻や汚泥、廃
プラスチック類、金属くず
などを処理する。土地取得
は済んでいないという。
(長久豪佑)

中国新聞朝刊 (令和元年12月26日) の記事

「人の思いって、どれほどの重さか」。令和元年12月中の提出を目指し、反対署名を一枚一枚確認し数えていく作業を進めながら、そんなことを考えていました。赤崎地区を皮切りに平成30年10月から反対署名活動をスタートさせ1年2か月。町内の各自治協議会の協力を得ながら親戚・友人・知人等に積極的に働きかけて頂いた結果、7660人の署名を集めることができました。誠にありがとうございました。一筆一筆に込められた「赤崎に産廃最終処分場はいらん!!」という思いの重さを、広島県はどれほど感じるのだろうか。また(株)栗本ホールディングスはどれほど受け止めるだろう。産廃最終処分場建設を阻止していく活動を、今後も泥臭く進めていきたいと思います。



新年のごあいさつ

木谷の未来を見据えて課題に取り組む

木谷自治協議会 会長 吉田 清志

新年あけましておめでとうございます。皆様がお元気で新しい年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。木谷自治協議会の活動にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

昨年は、民間企業による管理型最終処分場建設への反対運動をはじめ、沢山の行事を実施してきました。廿日市市大野第一区福祉部会からの視察や東広島エコミュージアム安芸津ツアー（木谷では赤崎でジャガイモ掘り体験）も受け入れて、参加者から木谷地域の特産物・自然・活動が高く評価されました。老いも若きも「ワンチーム木谷」として、住民の皆様が活動に係わってくださった結果だと感謝するとともに木谷に暮らすことに誇りを感じます。

令和2年は、オリンピック・パラリンピックの年で、世界各国から日本に多くの方がやってきます。木谷にとってもこのチャンスを活かせるよう皆さんと共に知恵を出したいものです。東広島市では、新たに作成する第五次東広島市総合計画に基づき、「『仕事・暮らし・人・活力・安心』づくり」の施策を積極的に推進し、私たち市民が住みたい、働きたい、学びたいと感じ、国内外から多様な人材が集まるような「選ばれる都市 東広島」の実現を目指しています。

木谷地域では「管理型最終処分場建設の問題、少子高齢化・災害時の避難所・自然災害・後継者不足・公共交通」等々多くの緊急課題を抱えています。第五次東広島市総合計画を利用・活用しながら皆様とともに知恵を出して、課題解決を進めていきたいと思えます。特に赤崎地区に計画されている「民間企業による管理型最終処分場建設」は市の方針（安心づくり・人づくり・持続社会づくり・発展社会づくり）に逆行することを胆に銘じて反対の運動を進めていかなければならないと思えます。祖先から社会から引き継いできた赤い大地の贈り物（赤）馬鈴薯や柑橘、穏やかな瀬戸の海で育つ美味しい牡蠣を「木谷の宝」として未来へ引き継いでいく責任があります。

今後とも木谷自治協議会へのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。本年が皆様にとりましてよい年になりますようご祈念申し上げます。

東広島エコミュージアム安芸津ツアー



11/23 東広島市が安芸津の魅力を市外に PR 遠くは大阪からの参加を含む15名が安芸津町を訪れました。天候にも恵まれ、一行は島村水産でカキ打ちを体験し、柄酒造で酒蔵を見学しました。木谷では甲斐直樹さんから赤崎のジャガイモの特徴について説明を聞き、ジャガイモ掘りを体験しました。

木谷地域センター主催講座



11/22・12/6「おとなの手しごと」で鶴亀の水引細工
(左の写真) 鶴と亀をあしらった縁起の良い水引細工の飾り物づくりとあって、定員10名を大幅に超える17名が応募したため、2回に分けて実施。参加者は講師の光保智恵子さんに教わりつつ、「簡単そうでも難しい」「脳トレになる」「皆で作れば楽しい」などと話しながら作っていました。

12/24「ミニ門松づくり」で正月を迎える準備

(右の写真) 松、梅、竹、南天がバランスよく組み合わせられ、正月らしい雰囲気^{かも}を醸し出す門松。そのミニ版を作る講座が開かれ、10名の参加者が木谷竹細工教室の水野哲朗さんの指導を受けながら、自分流の門松を作りました。



12/24「冬休み子ども料理教室」でケーキづくり

(左の写真) 楽しみにしていたクリスマスケーキづくり。子どもたち8名は講師の木村加代子さんに教わりながら、その場で食べる大きなケーキと持ち帰り用の小さなケーキを作りました。また昼食用に炊き込みチキンライスも作りました。

部会活動紹介

福祉生活部会



12/3 美味しい豚汁で木谷小の持久走大会を支援
一生懸命走った子どもたちを^{ねぎら}い、その努力を讃えて配られた豚汁。あまりの美味しさに、お代わりが欲しいという児童もいました。走るとき地域の人たちの応援も大きな励ましになったとの声もありました。

<木谷地区社協「蛟龍」>



12/19 一足早くサンタクロースが保育所を訪問
園児たちが心待ちにしていた「おたのしみかい」。サンタさんからプレゼントを渡され、クリスマスの歌や踊りで交流して、楽しい時を過ごしました。 <木谷地区社協「蛟龍」>

教育文化部会



12/16 廿日市市からお茶の間サロンに視察研修
廿日市市大野第一区福祉部会から、20名が視察研修で「お茶の間サロン」を訪れました。サロン参加者の満足度を高める方法などについて情報交換を行いました。 <お茶の間サロン>



12/24 スナッグゴルフ小学生広島大会2019に参加
県内の11校20チームが広島カンツリー倶楽部八本松コースで技を競いました。木谷小からは1チームが参加しました。

<放課後子ども教室>

<2020年3月までの各部会の主な活動予定 >

防災安全部会	2月16日(日)	木谷自主防災訓練(12:30~)
福祉生活部会	3月20日(金)	友愛訪問(おはぎを持って高齢者宅を訪問)

木谷の人口(住民基本台帳)	世帯数	人口(男女計)	男	女
令和元年12月末現在	694	1559	757	802
平成30年12月末との比較	-9	-45	-20	-25